

第3次西東京市農業振興計画（素案）策定に係るパブリックコメント実施報告

1 実施対象

第3次西東京市農業振興計画（素案）

2 実施根拠

西東京市市民参加条例（平成14年西東京市条例第23号）第13条

3 実施期間

令和5年11月24日（金）から令和5年12月25日（月）まで

4 対象

市内在住・在勤・在学者、市内に事務所又は事業所がある法人、又は団体

5 公開方法

- (1) 情報公開コーナーでの公開
- (2) 市ホームページでの公開
- (3) パネル展示実施

6 市民意見提出方法

- (1) 直接持参（産業振興課）
- (2) 郵送
- (3) ファックス
- (4) 市ホームページ専用シート

7 提出された意見の件数

5件

第3次農業振興計画（素案）パブリックコメント 意見

	ご意見
1	・近くに畑がありません。収穫体験など、土にふれる機会をつくってほしい。
2	・今行っているイベントの植木の種類に食べられる植木があるとよい（ブルーベリー・ウメ・イチジク・など） ・そして、育て方を教えていただきたいです。（水やり、日当たりなどのポイント） ・家庭で栽培できる種類を教えてくれるイベントを希望 ・地元の農業収穫体験会そして買えるといいです。
3	・マルシェに12/9（土）（下保谷4丁目特別保全緑地地区）に行きました。珍しい野菜が買え、楽しかったです。地元の野菜が食べれることは幸せです。直に農家の方とも話ができました。何回かあれば行ってみたいです。
4	・直売所のマップがあるとわかりやすく、買い物しやすいと思います。美味しい新鮮な野菜が食べたいので、お願いします。
5	・ひばりが丘には直売所がない。近くだと、いこいの森公園での販売がうれしく思っている。今年、いこいの森で珍しい野菜やお味噌が売っているイベントがあった。もっと増やしてほしい。 ・親子でやる収穫のイベントが小学生以下が対象になっているので、普段あまり話さない中学生や高校生が参加できる収穫イベントがあったらよい。親子も高齢者を入れた親子（孫）3代も面白いと思う。

第3次農業振興計画（素案）パブリックコメント 意見

	ご意見	要約	回答
1	近くに畑がありません。収穫体験など、土にふれる機会をつくってほしい。		・市民の方々に農業の魅力を感じていただくために、今後も農業・農地にふれる機会を創出いたします。
2	・今行っているイベントの植木の種類に食べられる植木があるとよい（ブルーベリー・ウメ・イチジク・など）そして、育て方を教えていただきたいです。（水やり、日当たりなどのポイント） ・家庭で栽培できる種類を教えてくださいイベントを希望 ・地元の農業収穫体験会そして買えるといいです。	・イベントでの植木の種類に実のなる植木があるとよい。また、育て方のポイントも教えてください。 ・家庭で栽培できるもの等教えてくれるイベント、地元の農業収穫体験を実施し、販売もしてほしい。	西東京市の農業の4本の柱のひとつである植木にふれあう機会について今後も検討してまいります。また、農業・農地・農産物にふれる機会について検討いたします。
3	マルシェに12/9（土）（下保谷4丁目特別保全緑地地区）に行きました。珍しい野菜が買え、楽しかったです。地元の野菜が食べれることは幸せです。直に農家の方とも話ができました。何回かあれば行ってみたいです。	マルシェに行き、珍しい野菜や地場産野菜を購入できた。直に農業者とも話ができて、このような事業が何回かあるとよい。	・市内産農産物の新鮮さや安全性を知っていただくこと、また農業者の方々と交流を通じ、より農業が身近に感じることができるよう、マルシェの取り組みを引き続き実施します。
4	直売所のマップがあるとわかりやすく、買い物しやすいと思います。美味しい新鮮な野菜が食べたいので、お願いします。	新鮮な野菜が食べたいので、直売所マップがあるとよい。	・市民の方々の食と暮らしを支える市内産農産物を販売する直売所は本市の農業の情報発信の拠点として重要度が高いと考えております。いただきましたご意見を参考に、直売所の周知を図っていきたいと考えております。
5	・ひばりが丘には直売所がない。近くだと、いこいの森公園での販売がうれしく思っている。今年、いこいの森で珍しい野菜やお味噌が売っているイベントがあった。もっと増やしてほしい。 ・親子でやる収穫のイベントが小学生以下が対象になっているので、普段あまり話さない中学生や高校生が参加できる収穫イベントがあったらよい。親子も高齢者を入れた親子（孫）3代も面白いと思う。	・近所に直売所がないため、いこいの森公園での販売をうれしく思っている。今年もいこいの森公園で珍しい野菜や味噌の販売があった。このようなイベントを増やしてほしい。 ・親子で収穫イベントの対象が小学生以下となっているが、中学生や高校生も参加できる収穫イベントがあるとよい。また、高齢者を入れた親子3代参加できるようにすると面白い。	・市内産農産物の新鮮さや安全性を知っていただくこと、また農業者の方々と交流を通じ、より農業が身近に感じることができるよう、マルシェの取り組みを引き続き実施します。 ・市民の方々に農業の魅力を感じていただくために、今後も農業・農地にふれる機会を創出し、様々な年代の方々への提供を検討してまいります。